

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	その他	授業の方法	講義演習
科目名	在宅援助論Ⅲ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	3年生教室
担当教員	戸板宏一郎 日下部 麻美 三浦純子	実務経験と その関連資格	看護師として医療機関での臨床経験と看護基礎教育の経験を有する			
《授業科目における学習内容》						
在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開を学ぶ。また、さまざまな在宅看護事例の実際を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
看護過程レポート、試験 評価割合:(戸板50%、三浦30%、日下部20%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
統合分野 在宅看護論 医学書院						
《授業外における学習方法》						
シラバスに沿って次回授業についての予習を行い授業に臨む。授業後は配布資料や教科書での復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
在宅での療養生活に対する理解を深め、療養者とその家族のイメージを膨らませながら学んでいきましょう						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。①	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のD:認知症の療養者に対する在宅看護の事例展開を読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)	
		各コマにおける授業予定	ストーマの管理と援助の方法を学習する。①			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のF:ALSの療養者に対する在宅看護の事例展開を読んでおく(30分) 授業の復習 ワークシートをまとめ提出する(30分)	
		各コマにおける授業予定	ストーマ管理についての援助(観察、食事、排せつ、清潔、交換)について計画を立てる。②			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のI:終末期の療養者に対する在宅看護の事例展開を読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)	
		各コマにおける授業予定	ストーマの療養者に必要な援助をグループで検討、計画する。③			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のG: COPDの療養者に対する在宅看護の事例展開を読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)	
		各コマにおける授業予定	ストーマの療養者への援助を演習で行う。また振り返ることにより、援助の評価、アセスメントを行う。④			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。②	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第6章C. ③ストーマと基礎看護技術 II ストーマで技術を読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)	
		各コマにおける授業予定	終末期の療養者に対する在宅看護の事例展開 ①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。③	テキスト、資料	事例を読み、看護問題の優先順位、目標、計画を考える(30分) 授業の復習をする(30分)
		各コマにおける授業予定	COPDの療養者に対する在宅看護の事例展開 ②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。④	テキスト、資料 プロジェクター	資料の事例、認知症とALS療養者を読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)
		各コマにおける授業予定	認知症の療養者に対する在宅看護の事例展開		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護技術の実際が理解できる。⑤	テキスト、資料 プロジェクター	資料の事例、終末期とCOPDを読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)
		各コマにおける授業予定	在宅酸素療法の援助について学習する。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護技術の実際が理解できる。⑥	テキスト、資料 自己学習ノート	事前課題とまとめる(30分) 事前課題をまとめる(30分)
		各コマにおける授業予定	褥瘡予防、褥瘡発生時の在宅看護について学習する。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護技術の実際が理解できる。②	テキスト、資料 自己学習ノート	事前課題とまとめる(30分) 事前課題をまとめる(30分)
		各コマにおける授業予定	終末期の療養者に対する在宅看護の事例演習 ②		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護技術の実際が理解できる。③	テキスト、資料 自己学習ノート	事前課題とまとめる(30分) 事前課題をまとめ提出する(30分)
		各コマにおける授業予定	COPDの療養者に対する在宅看護の事例演習 ②		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。⑦ 在宅療養の事例に対し、必要な援助計画を立てることができる。	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のE小児の療養者に対する在宅看護の事例展開を読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)
		各コマにおける授業予定	小児療養者に対する在宅看護の事例展開①		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。 在宅療養の事例に対し、必要な援助計画を立てることができる。	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のE小児の療養者に対する在宅看護の事例展開を読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)
		各コマにおける授業予定	小児療養者に対する在宅看護の事例展開②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する対象に応じた看護過程の展開方法が理解できる。⑧	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のJ統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開を読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)
		各コマにおける授業予定	統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例展開に応じた社会資源の活用を考えることができる。	テキスト、資料 プロジェクター	テキスト第7章のJ統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開を読んでおく(30分) 授業の復習をする(30分)
		各コマにおける授業予定	統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開②		